

天文学と猫 第90回 プラネタリウム



www.tenpla.net



今月のお題

三鷹天命反転住宅での夏休み



天ブラ×三鷹天命反転住宅、異色のコラボレーションの結末はいかに？

高梨直紘 (東京大学)
平松正顕 (国立天文台ALMA推進室)

天ブラの活動重心は、関係者が多く集まる東京都三鷹市。特に国立天文台があるあたりは、「三鷹のチベット」などと地元の方に呼ばれるほどの僻地……いや、自然豊かなところです。その武蔵野の原風景が残る三鷹のチベットに、ひときわ目立つ素敵な建物があるのを、皆さんはご存じでしょうか？通りがかった誰もが思わず振り返ってしまうそれは、「三鷹天命反転住宅」と呼ばれる建物。今夏、この建物を一週間お借りして天ブラの夏休みを満喫してきましたので、そのご報告をいたしましょう。

ゆるゆる天文生活

初日。イベント開催準備のために初めて現場入りした天ブラの面々は大喜び。ハンモックに揺られてみたり、部屋の中をぐるぐる回ってみたり、ハシゴに登ってみたり。子どもの心を忘れない大人たちです。この日のイベントは、宇宙図製作メンバーの小阪淳氏と片桐暁氏をお招きして、科学と芸術をテーマに関係者のみのトークイベント。題して「人間・美術・哲学・科学・

宇宙：森羅万象のタペ」。白熱した議論が交わされました。大人だ。

二日目。この日は、三鷹天命反転住宅の魅力を活かしつつ、天文学普及のためのコラボレーション可能性についてを検討しました。言い換えると、だらだらして、ごろごろして、焼き肉大会をしたとも言います。楽しかった。

三日目。この日からスタートしたのは、三鷹第四小学校で行っている天文部活動「アストロクラブ」のクラブサポーター（中高生）に向けた特別講習会。初日のテーマは「星」。大学教養課程で使っている講義資料を用いての講義でしたが、さすがはアストロクラブ卒業生。とても良い質問がびしびし飛んでいました。

四日目。この日もクラブサポーターの特別講習会。テーマは「銀河」。クラブサポーターたちもすっかり会場に慣れて、まるで我が家のように。三鷹天命反転住宅を覗きに来る天文台関係者を捕まえては、質問を飛ばします。たじたじ。

五日目。この日でクラブサポーターの特別講習会も最後。テーマは「宇宙論」。宇宙図の徹底解説を行いました。どれくらいわかったかな？夜は、天ブラ有志によるパーティタイム。お酒



真剣に話を聞くクラブサポーターたち。これだけ近いと話すほうも緊張です。

を傾けつつ、宇宙のこととか……語ったら良かったんでしょうけど、もっと世知辛い話でした。

六日目。この日は最後の日。考古学の先生と、国立天文台の先生をお招きして、中国の古天文学について勉強会を行いました。

こんな感じの一週間でしたが、改めて感じたのは建物の持つ力です。天体観望会でも感じる事ですが、非日常の空間はコミュニケーションを活性化させます。また、建物自体が人を惹き付ける力も大きいです。ふだんはなかなかお互いに顔を合わせる機会がない人々が集まり、会話を交わす光景は私たちが求めている幸せの形そのものように思います。またやろうっと！